（五日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭日 第一第三日曜
定價　壹ケ月五十錢　壹枚二錢　郵稅十錢
廣告料　二行五十錢 指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社

磐中生活の回顧（上）

齋藤昌武記

一、輝く新校舍

峯は秀づ赤井嶽、水は清し夏井川、校歌そのものが代表する山、河、谷、自然の恵みに富む石城の一角に古い歷史と多くの數へ子とを社會の活舞臺へ送り出してゐる高月の岡、磐陽の學び舍こそ吾等否幾多の卒業生には忘るゝことの出來ぬ母校『磐中』である、と同時に眞に若人達の憧憬してゐる理想の學園であらう、舊校舍たる揚土、新校舍たる高月に幾回も幾回も春が過ぎてゐる、廣いグラウンドにラッケット、バットの音が聞ゆる時何時か又二十九回目の新しい昭和の春が來て精練された昭和の新青は輝く希望を抱いて先月あの學窓を巣立つたのである、又偉大な世のクリイターが出るであらう……世の人々のなつかしい、豫想であらう、今自分も卒業生の一人であることを思はゞ又云へ知れぬ愛着とうれしみを感ずるのである、そのうれしさがあつかましくも自分をして母校の過去現在強いては未來まで幾多の連想を起さしめずにはゐない。記憶の判園と調べたことども書いて母校の樣子を考へて見るのも亦意味あるところでありませう、明治二十九年四月福島縣尋常中學校磐城分校として立てられたこの學園が三十一年の四月獨立して第二尋常中學校となり三十二年の四月縣立磐城中學校となつたそうですが世の需要と知識欲の盛になるにつれて校舍が狹くなつて現在の新校舍高月臺に移轉したのである……見よその歷史の古き高月の新校舍は當時よりの變遷と膨大とを語つて止まぬのであらう、明治三十三年四十三人の第一回卒業生を出してから今の春二十九回まで二千餘名學級數が最初の二學級に比較して現在では二十二學級までも增加してゐる、石城郡及び近郡よりの通學者が初めこの古き學園より出て立派な實業家となりゐた人もけつして少くはありますまい、今その一回よりの重なる先輩を數へ擧ぐれば鐘ケ淵紡績會社山科工場長鈴木正武氏（一回）上海同文書院敎授坂本義孝氏（一回）福島高商敎授濱島操氏（二回）朝鮮慶尙南道農業課長加藤木保二氏（一回）磐城中學敎諭山崎宣吉氏（二回）在米國新聞社經營佐々木修一氏（二回）代議士比佐昌平氏（二回）醫學博士愛知醫大敎授八木澤文吾氏（三回）醫學博士（[illegible]ノ大家）赤津誠內（三回）海軍中佐安宅艦長鈴木幸三氏（五回）醫學博士矢吹淸氏（五回）名古屋稅務監督局柏木諄氏（六回）內務省社會局勞働課大河原昌勝氏（七回）滿鐵地質調查所技師木村六郎氏（八回）

書けば限りない、重に知られてゐる人として前の人々を擧げるにとゞめ其の他の人を讀者の想像にまかせしよう、とにかく社會によい成績を擧げてゐるのである、次に忘れられぬは學生生活である

二、磐中の學生々活

若人達にとつて與へられたる樂園は廣い天地に少くないがその一つ學生生徒にとつてはこの學生生活が意義深く面白いものである、自分も中學時代は相當なヅボラだつた下駄をはき登校してしかられた時もある然し今考へて見ればこんなことはするものでなかつたとつく〲思はれてなりません、然し何んと云つても思へ出されるのはスポーツで中でも對校試合の面白みである。（つゞく）

明日の吉凶
新暦四月六日　舊暦二月二七日

▲一白　突飛な事に手を出さずば案外の成績を見る▲二黑　計畫に粗漏なくば次第〱に發展し行くべし▲三碧　物事もつれを生じ易し飲食物にも注意を要す▲四綠　外に對する威勢あれども內に淋しき所あり▲五黃　圓滿平和を目標とすれば德望一身に集まる▲六白　物事の調子に變動を生じ意の如く成らぬ日▲七赤　多少外界の支障はありとも進路に差支なし▲八白　小なることに心を痛めず大處に着眼すべし▲九紫　事は努力次第にて成るの時障害にたゆむ勿れ

諧談

[illegible]（200）

渡邊默禪作・宮野歌春畫

『さア〱、二人ともゆつくり沈着いてくれ、今湯を沸かして茶でも入れるから』

と勘太郎は急いで灯火を點けてから七輪に炭を入れてばた〱と團扇で煽ぎ始めた

『良人、お止しなさいよ、那麽事は私が爲ますわ』とお君は立揚つて、其の手から團扇を引奪つて

『何だか知らないが嬉しいことね、もう幾月になるでせう、良人彼時からどうなすつて彼の手紙が届いて今何をしてゐらつしやるのね〻、商賣さ、何ですか、何ですか此の家が光つて來たぢやありませんか、少しは都合がよくなつて、それからアノ坊やはどうしましたね、見えないぢやアありませんか、心配ですわ、私き、オホ〻、つねに柳橋に行つてから口癖がついてわちき〱とばかり……オホ〻、可笑しいでせうね』

と夢中に喋舌つてゐるその側で勘太郎もうろ〱しながら

『むそうだ、そうだらう、そうかも知れない』

と頓珍漢な挨拶をしてゐたが

『たい〱、そうのべつにいろんな事を訊かれると返事にまごついて了ふぢやないか、何手紙、む、見たよ見た商賣は今度の小賣をしてゐるが、それが大變にあたつての、大助りよ、いやそれも是も悉皆お前の蔭だ、ア、濟まなかつた、勘忍して呉れお君、む、む〻坊やか、坊やは一軒隣のお婆さん許に預けて育てゝ貰つてゐるが彼時から仕合と風邪一つ引ずそりやア丈夫に育つてゐるからの、安心したがよい、む、今に連れて來るよ、ま、ま、待つて呉れ……たいお前、そんな綺麗な衣裳を着たなりで臺所へ飛出しなさんなよ、汚なくなつちまうぢやないか、何、構はない、汚れたら打棄る、アハ〻、恐ろしく氣が大きくなつたな』

是も些とのぼせ氣味だ

『オホ〻、良人に逢つたら最う何にも併はない氣になつちまひましたわ、だが良人、彼の時はお瘦せなすつてらつしつたが大層肉がついてね』

『む、肥つたよ、是もお前のお蔭で、いはゞ女房肥りだ併しお前は恐ろしく綺麗になつたぢやないか、こんな粹な女ぢやなかつたが…』

『そりやアどうしてもね稼業柄ですわ』

『そうかの』

迷惑なのは與平老人である。勝手の眞中に一人殘されて莨ばかりをぷかり〱と燻かしてゐる間の惡さ。

『モシ〱お二人さん、最う好い加減に願ひやすぜ、いくら嬉しくたつてさかりどきの猫のやうに泣たり笑つたり引着いたり放れたりそう際限もなく狂はれちやアなんぼ私のやうな梅干でも助かりませんや、何卒お手柔かに……アハ〻、〻最う一遍、二十代に逆戻りをして見てね、畜生ッ昔が想ひ出されるせ』と脂下りにくはへた煙管を投出した

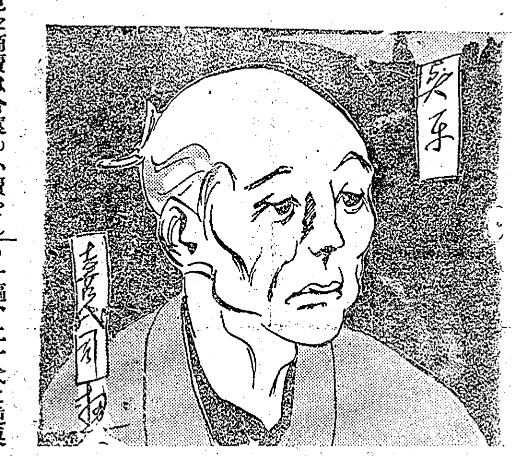
『あら爺さん、勘忍して頂戴、オホ〻、話に夢中になつてお前さんの居るのを忘れちまつたのよ』

とお君は臺所から出て來た

『何忘れた？、こいつア手が着けられねや、アハ〻、〻』

勘太郎は戶外へ出て近所に托して置いた勘一を抱いて來た。

『さア、お君見て呉れ、此の通りだ』



讀者欄

若き女性へ

秋聲生

近來女性が各方面に勃興して來つゝあるといふのは爭はれない事實である、それは單に女性の自覺といふ許りではなく世の中の一般の情勢が女性をかく到らしめたものであると思ふ、近代人は男女老若を問はず頗る不安の狀態の中に生活を續けつゝあるので女性といへどもこの不安を免れる事が出來す、たとへ結婚をするにしても男子そのものが不安であるからこれを唯一に信頼して生活することも出來ない、されば、つて女性が獨立獨步自分で經濟生活を支持するといふ事はよし一時はそれが出來ても決して永續性のあるものではない、特に文藝をもつてその經濟生活を支持してゆかうといふ事は既に世に認められてゐる大家でも六ケしい問題であるのに拘らず女性が文藝に憧れその創作をもつて獨立して行かうといふやうな考へを持つ事は頗る考慮を要する問題といはねばならない

今現文壇の閨秀作家と我が人も許してゐる人々の手に果して何人獨立的經濟生活を營んでゐる人があらうか尠くとも自分の知つてゐる範圍では一二の指を屈するに止まつてゐる。そしてその多くは親の貼産夫の遺産を繼げ來た家庭をもつてゐる人々は夫の經濟的背景の下に文學研究を續けてゐる、尤もその例外として夫妻共に創作によつて生活してゐる人もあるがそれは稀である。

藝術と生活とは誠に緣遠い問題でこれの一致といふ事は文壇の凡その人々が惱みとしてゐる西洋ではそれで生活のために全然別の殘業に就いて創作をやつてゐる例も尠くない程である。

女性が眞に創作に志しそれをもつて經濟的生活の安定を期するといふ事は餘程の天才でなければ望まれない事でそのためにいろ〱藝術的に墮落したりまた道德的意味での墮落さへ餘儀なくされるといふ事を深く考へなければならぬそれで經濟的背景の裡に自分の創作に精進するといふ事は最も望ましい惠まれた境遇であるがそれは望んで得難い事であるからよく考へて欲しい、況んや藝術の道は廣く深く普通人の考へるやうな容易なものではなく本當に惠まれた者のみが眞にこの道の眞髓を極める事が出來るのであるこの點特に留意してほしい

廣告

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

磐城自動車學校ノ創立

青年諸君我等ハ我等ノ心身ニシツカリ合ツタ職業ヲ撰ビ其ノ職業ニ依リテ運命ヲ開拓スベキデアル近時文明ノ第一線ニ立ツ交通ノ利器自動車ノ運轉手位面白ク愉快ニ紳士的職業トシテ前途洋々タルモノハ有ルマイ、現今運轉手ノ增加ハ自動車ノ增加ニ伴ハザル現狀ニアリ既ニ運轉手トナランカ年少氣銳ノ若者ニシテ既ニ相當ノ收入ヲ得テ且ツ失業ノ憂ナク引張リ凧ノ有樣斯クテ殊ニ優秀者ニ至リテハ各雇主ノ大歡迎ヲ受ケツ、アル新時代ニ急先鋒トシテ活氣ニ充タサレテ生々ト働ク亦男子ノ快事ニアラズヤ然ルニ現時之等希望者ニ對シ之ガ操縱法及學術技能ヲ修得スルニ多額ノ費用ヲ要スルハ遺憾ナリ我磐城自動車學校ハ最低廉ナル費用ヲ以テ其目的ヲ達セシメ尤モ完備セル設備ト老練ナル敎師ヲ聘シ時代ノ新要求ヲ達成センガ爲創立シタル次第ナリ來リテ見ヨ而シテ諸君ノ最善ヲ發起シ諸君ノ運命ヲ開拓セラレン事ヲ

▲本校ノ內容（學則希望者ハ申込次第送附ス）

受驗科　一ケ月卒業　學術技能ノ經驗アル者
授業料（學科實習費共）一ケ月金參拾五圓
T型フオード　新フオード　シボレー

速成科　二ケ月卒業　初心者ニシテ速成ヲ望マル、者
授業料（學科及實習費共）一ケ月金參拾圓
T型フオード　新フオード　シボレー

本科　三ケ月卒業　初心者
授業料（學科實習費共）一ケ月金貳拾五圓
T型フオード　新フオード　シボレー

但シ授業料ハ各科共前納ノ事
入學資格尋常小學校卒業者及ビ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

▲本校練習用自動車ハ
▲シボレー　▲新フオード　▲廿七年式フオード
▲本校ニハ通學ノ出來ヌ生徒ノ爲ニ寄宿舍ノ設備アリ月額約十八圓デス

新學期開始　昭和四年五月一日
公認　磐城自動車學校
四月一杯ハ　平町二丁目尼子自動車部　電話六四〇番ニテ取扱フ

ヒナ人形小道具一式
水光齊 祐月製
特價大賣出し
平町二丁目
陳野洋品店

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は三四三番
サシミ

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

平町南町
上田醫院
電話一二九番

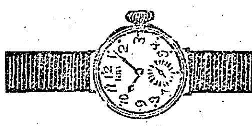
平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

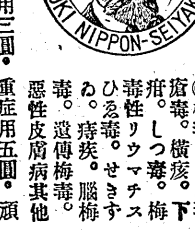
平町田町
高久病院
電話五一三番

春向が澤山入荷いたしました
着尺　ナフトール　モスリン　セル　ネル
帶皮
其の他色々
どうぞ御用命を願ます
龜田屋
電話五七

宮內省御用達
ヒゲタ醬油

特約店　平町田町
廣瀨支店
電話五四番

優秀なる最新型腕卷時計

蓄音器　眼鏡　各種レンズ　各國時計　ダイヤ　指輪　裝身具
鐵道省御用
クジヤク印蓄針特約店
金光堂時計店
平町五丁目　電話七三六番
貴金屬御注文製作品早く良奉仕的特價に致します

ばいどく
梅毒と
からだのどく
體毒を
切らず注射せず治す
ベルツ丸


◎梅毒。りん毒。下疳。しつ毒。梅毒性リウマチス。ひゐ毒。せきずゐ。痔疾。腦梅毒。遺傳梅毒。惡性皮膚病其他
藥價　輕症用三圓・重症用五圓・頑固用十圓・根切德用廿圓・試用二圓・一圓
地方一手特約店　平町五丁目角
山野邊藥局

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾　皮膚病　市原三三男
平町田町本通
市原病院
（入院隨時）
電話一一四番

稍々顔の出揃つた 植田の町議戰
定員十八名に増員され 政民兩派の秘策

植田町々會議員選擧は來る五月廿九日執行される事となつた、同町は從來町會議員十二名の處今回より十八名に增員され搗つて加ひて目下欠員中の町長選擧も新町議の手によつて決すべき重大な指命と目的を有してゐるだけ選擧運動も猛烈を極むるものと豫想されてゐるが既に立候補確實と見られる者は

（政友派）松本好富、古川傳一、小宮山省吉、金成金三、渡邊重三郎、香取吉藏、渡邊義一、渡邊國之助、相川熊治、大平菊藏、赤津亦太郎、小野忠衛、鈴木海、樋田丑藏、鈴木林平

（民政派）鷺清昇、佐藤松之助、小川福太郎、豐田豐治、佐川龜太郎、赤津島治、大平喜治、古川定次郎、鷺保之助

等の諸氏で現任町議は政民各六名の勢力伯仲であるが政友、民政共に此の選擧に過半數を制すべく正に戰ひの火蓋を切らんとしてゐる

宿料を踏む
太い男捕はる

石城郡石住村大字方鉢自稱木材薪炭商栗城通（四〇）は去る三月八日午後八時頃湯本町三函旅人宿備中屋事島崎三五郎方に宿泊し宿料二圓五十錢ビール二本一圓十錢酒四本一圓四十錢肴代一圓計六圓と同家銘仙寢卷七圓八十錢を着て九日朝裏口より逃走して姿を晦してゐたが四日何知らぬ顏で自宅に舞ひ戻つたところを平署に御用となつた

保險率を下げねば 契約を取消す
運動稍々油の乘つた 平町の火保問題

平町に於ける火災保險率が千分の九から一躍千分の十一に引きあげられたが平町に於ける火災保險關係者が引下げ運動を起し井上平消防組頭は大日本火災保險協會に意見書を提出し各委員もそれと引下げについて運動をなしつゝある、保險協會が率を引上げたのは平町に於ける保險加入の成績が極めて良好で各會社の被保險者豫定額より遙に越過してゐる爲め平町に火災が頻發する樣な事があれば保險會社が損害をする樣な結果になるので會社擁護の爲めに率を引きあげたものであるとの事だが、平町當局では町有營造物の火災保險に對し現在率を引上げられても豫算が計上してないので契約率で保險金を納めるしかほかに支出する事が出來ないので若し協會側が何うしても率を引きあげるのであれば、大日本火災保險協會に

加入してゐない保險會社と新に契約を結ぶ方針との事であるが平町に於ける大きな建物は殆ど火災保險がつけてあるので引下げ運動については各方面で、其の結果を氣付かつてゐる

常磐各炭礦の 機械化
過剰人員處分

常磐地方の各炭礦は最近漸次各種機械の設備が完備しつゝあるが更に婦人の深夜業禁止と同時に撰炭機の設備等が計畫されて居りその他にも運搬方面の機械化等が計畫されるに至り茲數年間には常磐炭界も先進地と同樣各方面に亘つて相當人力に替る機械化を見るものと豫想され可成り注目されて居るがこの機械化と同時に過剰人員を如何にするかが目下各炭礦業者間の問題となつてゐる

平から小名濱へ 片道僅か廿分
工費四十萬圓を投じ 自動車道路計劃

小名濱町小野晋平氏等が發起となつて物資輸送並に夏期における海水浴客の連絡運輸の便をはかるため平町を起點として飯野、鹿島、玉川各村を貫通して小名濱町に至る幅四間の自動車專用道路はいよ〳〵實測も終了し近く認可申請の手續きを取ることになつたがこの專用道路が開通することになれば平、小名濱間はわづか二十分內外の短時間に依つて連絡されることになり從來不便であつた交通に一改革が行はれるので非常に各方面から期待されて居るなほ右道路開設に要する總工費は目下秘密に附されて居るが約四十萬圓を要することにならしく認可と同時に株式組識として開始する模樣で目下各種の準備を急いで居る

鰯の大漁
石城各濱で 一隻千圓の漁

磐城各濱の夏季漁業準備は大体整ひ春漁の鰯漁は先月末から着手したが最近天候變調から鰯群は盛んに小名濱沿岸に押寄せ各漁船は何れも豊漁續きで中にも（アグリ）船などは朝出で夕の歸港までに一隻千圓以上の漁獲高を示し各濱漁業組合は近年稀な事だとホク〳〵ものであるなほ小名濱の漁夫連は鰯漁の多い時はその年は必ず鰹漁の好漁の年だからと躍如として居り各濱は異狀の活氣を呈してゐる

村議總辭職して 選擧期日繰上げ
先づ鹿島村が皮切りに 或は辭職續出か

石城郡鹿島村本會議員新妻一氏外十一氏は來たる六月二日執行される村會議員改選期を前にして四日總辭職をなすことゝなり村當局にたいし連署の上辭職書を提出したが全員連袂辭職するに至つた理由、改選期の六月は恰も田植時の農繁期となるので選擧期日を繰上げ九月上旬に執行する樣に諒解を求むることになつたが郡下各町村會議員の改選は五月下旬より六月にかけ執行される町村が非常に多く農繁期の關係から鹿島村會議員の連袂辭職に刺戟されて選擧期日の繰上げをなす可く各町村に於ても夫れ〳〵考究中にあれば、農繁期にさしかゝる町村は續々總辭職をなすことにならぬではないかと非常に注目されてゐる

植田の賊御用

新潟縣中蒲原新津町生れ當時住所不定三星鐵太郎（四三）は二日午前九時頃植田町下町の竹松方の留守宅に忍び込み衣類現金を窃取直に御用となる

男女青年總會
平に開催 廿七、八兩日

縣聯合青年團總會は期日未定のところ二十七日平町磐城小學校にたいて女子青年團總會は二十八日同所において開催することに決定した

中寺の駒羅
前年より安値

石城郡澤渡村中寺家畜市場に於ける駒羅は三月三十日より四月三日まで五日間に亘り行つたが總頭數三百二十八頭價格二萬六千五百十二圓で一頭平均約八十圓八十四錢になり前年に比し十二圓三錢の低價を示し開場中最高牡馬は二百圓最底三十七圓牝馬最高三百一圓最底四十圓で前年よりは餘程底落した羅取り價格最高は永戸村薬谷佐太郎氏で石城畜産組合より木杯並感謝狀を贈られた優良牡、牝馬は左の如く選定された

△牡馬一等內藤桝吉（三阪村）二等松本正吉（三阪村）三等阿部宗貞（永戸村）

△牝馬一等水野藤助（永戸村）二等秋山政榮（三阪村）三等草野忠義（三阪村）

衣類の賊
後作直ちに御用

石城郡內郷村大字宮磐城炭礦々夫濁沼良作鈴木巳之太郎浪川正雄三名が去月十六日午前八時ころ衣類數點を

植田大敷網
古川縣議等出願 許可にならぬ

植田町小濱漁業組合では同地海岸に大敷網漁を開始したいと過般來縣に出願中であるが未だ許可にならぬ爲め古川縣議と小野助役とは五日出願速かに許可する樣陳情した

馬一頭が燒死

双葉郡澤野村大字上淺見川字南山齋藤丑五郎方厩家より四日午後八時頃發火したちまち居宅平家一棟其の他を全燒し猶ほ馬一頭燒死したが損害二千圓で原因不明である

花柳病撲滅
平町で展覽會

平町田町宇佐美藥局主催花柳病撲滅展覽會は來る二十日廿一日の兩日平町藤田女學校樓上に開く事となつたが病毒の模形百餘點の出品がある筈で先着五十名に奇拔なお土產品を呈上すると

きのう實地調査で 鮫川解決を急ぐ
但し十萬圓の支出は 當分困難の模樣

石城郡鮫川江節復活問題については本紙所報の如くであるが江筋關係者伊藤專務官は去る三日來平し復活に關して各方面の視察を行ひ四日歸縣したが此の活問題について一部の復活は重大な問題であるが鮫川水電側は何等の回答がないので如何とも決定することが出來ないので水電に對し目下交涉を進めてゐるが水電側としても組合からの金十萬圓を支出することは中々困難ではあるが聞く所によれば組合では有力なる後援者が出たらしいから遲くとも本月末頃までには回答があるものと思ふ組合としては強硬なる態度を持つて居るが出來るだけ圓滿に解決したいと考へてゐると語つてゐた

電工の危禍
平驛ホームで重傷

平驛電工馬場吾一（三三）は四日午後二時半頃同驛ホームの電燈線架設工事中誤つて高壓線にふれ墜落重傷を負ひ直ちに高久病院に收容加療中であるが全治三週間を要すると

◁◁◁◁◁◁ 絶對禁酒は不可
共濟委員の決議を駁し 平で制酒の布令

石城郡方面共濟委員會並石城郡町村會が生活改善の第一歩として從來磐城方部に於て慣習として行はれてゐる冠婚葬祭に酒を出すを改正する之に一般に宣傳する事を決議したが、平町當局では冠婚祭に於て今俄に酒を廢止する事は極めて至難であるから事實上から見て酒の必要のない葬儀に際しては酒を使用しない樣改良すべくその第一方法として葬儀に際してはできるだけ酒を使用せざる樣心がける事と云ふ觸れをこの程各區長に印刷物をもつて通達し、各區長は町內各戸に此た觸れを示達した平町では共濟委員會は集會の時に酒を無くする事からといふ標語のもとに漸次撤底的に勵行するを宣傳する由である

平町議 噂に上る人々（一）
寄合ひ世帶の面倒な處 ――田町區の卷――

平町會議員選擧は剩す處五十餘日、愈々五月三十日執行されることゝなつた、町役場の調査確定せる新選擧有權者は三千九百五十四人で前回に比し一躍一千百七十九名の增加となつたのである、而して乃公出ですんば平町政を如何にせん哉の自信と抱負を以て立候補の野心を抱く者、乃至は選擧民の輿望が擔つて推擧される人々は果してどんな顔振れであらうか、巷間傳ひられる話題の人々を拉し來つて御覽にかけ樣とする

田町

田町は平町廿五坊中、南町に次ぐ大きな町內で有權者二百七名を數ひ現町議三名（岩本、野崎、森本）を出してゐるのは嘗に南町と此の田町の二區に止まつてゐる斯くの如く多數の有權者を持つ田町は一致結束さい出來れば二名や三名は何の苦もなく町會に送り出せるのであるが田町は他町內の如く結合心の至つて乏しい所であると云ふのは

此處 は比較的土着者が尠なく事實平町第一の寄り合ひ世帶である、故に區民の一致結束は容易ならぬ難事で公認候補と稱するもホンの名義だけで候補者は推力に賴らず自ら他町內よりの投票を獲得せねばならない事は毎々の選擧に徵して明かな事實である、然らば斯くの如き候補者泣かせの田町から今回の選擧に果して何人が打つて出るであらう、先づ現町議の岩本重雄氏は氏自身が既に何の未練氣もなくサラリと斷念したと傳へられ、また是非出さねばならぬを力み出す味方もない模樣だから結局は出ない事が事實か知れぬ、次に野崎滿藏氏だが氏の立候補は素より何の疑ひなく確實なるは勿論、縣會議員として町議として稼いだ功勞もあり民政黨の地盤も背景もあるから前回よりは樂に當選出來るものと見て誤りあるまい、森本盛一氏の

起否 如何は本人自身が言明を避け容易に斷じ難いがもと〳〵氏の地盤は中運輸會社關係にあり我を張つても出るとなれば出れるもの夫れだけ周圍の同僚に氣を配らねばならぬ德義があるので一種の氣兼ねから同じ棟木の下の馬目雄次郎氏や、其の實弟の鈴木條三郎氏に順を讓ろうとの寸法らしく果して何人が打つて出るかは不明だが此の三人中から唯れかが名乘りを擧げるらしい、佐藤久吾平澤勝次郎氏等の古參級と少壯派の酒井淸氏何れも呼聲があり御本人も萬更でなく、隱れた實力家として內藏債治氏を推し立てようとの聲もあるが石橋を叩いて渡る主義の氏にしてウカ〳〵乘り出すものとは思はれない、而して辯護士の千葉彥治氏は當然田町區の公認として推される順序の人であるが家宅の新築移轉と共に氏の所在は才槌小路に移つたので

公認 する事には理窟もあろうが事實上田町人と見る可き氏の起否如何は田町からの立候補者に及ぼす處が少なくなく可成の注目を惹いてゐる、既に立候補を宣言した宇佐美友三郎氏あり更らに其他の蠢出を見るかも知れぬ（次は南町）

平町 衛生掃除
十一、二兩日に

平町春季衛生掃除は來る十一日は元郡役所より東部に亘り十二日は同西部に亘つて行ふ事と決定した

植田署長着任

新任植田警察署長田口喜孝氏は高田署より六日着任の筈で金成通、安島重三郎、古川傳一、小野助役發起の下に同日午後六時より山田屋本店に歡迎會を開くと

平小校の 進學卒
非常に良好

平町第一小學校の中學校入學志望者は尋常科六學年七十九人入學者五十八人高等科一學年廿六人中入學者十二人同二學年四人入學者四人第二小學校の入學志望者は尋常科六學年七十三人中入學者四十七人高等科一學年三十五中入學者二十三人二學年十四人中入學九人で第一第二小學校共入學志望者に對して六割五分の入學者を出しこれを試驗制度の改正以前と對比するに志望者に對し入學率少くこれは主に入學考査の結果と觀られ町住者の入學率多く村部落住者の入學率が僅少であつた

磐新塔

最近平地方の常磐銀行平支店、七十七銀行平支店、郡南植田町の磐東その他の銀行等には五十錢銀貨が滯積してゐる小貨が斯く滯積するのは一面平地方に於ける一般商家の不振を物語るものであるが、更に一面から此れを見ると昨年の財界大動亂に依る極度の不安に陷つた地方銀行が昨今全く安定し來つた證を裏書するものであらう。一時各銀行はいづれも拂出しが大半を占めて預金の如き皆無の狀態であつたものが漸次人心の安定するに從ひ銀行に對する不安も一掃され小額の預金も郵便貯金から銀行預金に轉換されつゝある結果この小貨滯積の現象を現出したものであらう

吉田眼科醫院

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用下サイ
營業課目
勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融 質物一般 取扱
多田井商店
平町大工町

電燈より接續してすぐ寫る 家庭活動寫眞
パテーベビー活動寫眞機
映寫器 八〇、〇〇
撮影器 六五、〇〇
フヒルム 一本 二、〇〇 二、五〇
生フヒルム 一本 一、〇〇
市內はお伺ひして御覽に供します
御申越次第カタローク進呈
パテーベビー社代理店
平町二丁目
西村屋藥舖
電話三番

新築落成
耳、鼻、咽喉科 氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり